

国産材の競争力向上に向けた今後の取組について【アンケート取り纏め】

|    |    |            |  |    |   |
|----|----|------------|--|----|---|
| 内訳 | 川上 | 森林組合等生産事業者 |  | 3  | 社 |
|    |    |            |  |    |   |
|    | 川中 | 問屋等市場      |  | 10 | 社 |
|    |    |            |  |    |   |
|    | 川下 | 製材業者       |  | 3  | 社 |
|    |    | チップ業者      |  | 3  |   |
|    |    |            |  | 19 | 社 |

依頼社数

26 社

回答社数

19 社

回答率

73%

1. 今回の国産材需要の高まりについて、今後どの様に推移すると考えていますか？

【ポイント】

- ・今後の国産材需要の高まりについては、【高まる】もしくは【このまま推移する】との意見が多く、63%を占めている。今回の需要の増加については、脱炭素化社会の構築やSDG's等の環境問題を背景としての外材依存からの脱却など一時的な代替ではなく、外材から国産材への切り替えが進むと考えている。
- その一方で、あくまで代替需要であり、外材供給が回復すれば国産材需要は下がる则认为意見も川中、川下事業体に見られた。



|       |            |                                                                                                                                                                                                       |
|-------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 川上の意見 | 【高まる】      | ・国有林の生産事業が主力事業となっているため、民有林材の供給量が増加しない。<br>・国産材へのシフトは、しばらく続く。                                                                                                                                          |
|       | 【下がる】      | ・輸入材が再び入るようになり、価格競争が始まるとコロナ前に戻っていくと考える。                                                                                                                                                               |
| 川中の意見 | 【高まる】      | ・原木不足が年内は続く、価格は多少上がりながら推移すると思う。<br>・ウッドショックにより「海外依存」への回避の為、需要は増加する。<br>・輸入材の手当の不足感がより鮮明になり国産材へシフトする企業が増加している。<br>・外材の供給不足から国産材への代替えが求められており、今後も国産材需要は高まると思われる。                                        |
|       | 【このまま推移する】 | ・ウッドショックの影響が続き、米松丸太、製品が品薄状況もあり国産材への代替を求めた需要が続くと思われる。<br>・輸入材不足により国産材へシフトした需用者から一定の評価を得られたと考えており、外材へ戻る需用者が減少すると考えている。<br>・脱炭素化社会、SDG's等の取組も追い風になると思う。                                                  |
|       | 【下がる】      | ・国産材の高まりは、外材の値上がりでコンテナ不足ロックダウン等による入荷激減の影響であり、国産材の良さが見直された訳ではない。今後外材の入荷が回復すれば国産材の需要は弱くなっていくと思われるが、いつのタイミングでどこまで外材の入荷が増えてくるかわからないが外材入荷に比例して下がってくると考える。<br>・民有林の経営計画による間伐材出材量では需要に応じきれなく、再び外材主体の需要となるため。 |
|       | 【わからない】    | ・情報量の不足と不明確な情報から先が見通せない。<br>・国産材の供給が不安定であり、先が見通せない。                                                                                                                                                   |
| 川下の意見 | 【高まる】      | ・外材に頼らない会社経営に移行してきていると思うのでこのまま需要は高まっていく。                                                                                                                                                              |
|       | 【このまま推移する】 | ・輸入材の安定と国産材の搬出量の拡大のスピード競争だと思うが、ある程度仕入れの安定から国産材確保の動きが出ると思う<br>・欧州材の動向に注目しているが入荷数量は前年割れが続いており、引き続き需給はタイトな状況が続くと予測され、輸入コストも下がる事は無いとの見方から相場は大崩れすることなく、代替としての国産材需要は堅調に推移すると思われる。                           |
|       | 【下がる】      | ・輸入材の代替材としての国産材の需要増は外材の入荷と共に下がると見込んでいる<br>・現在の需要は外的要因によるものであり、国産材自体の市場価値が高まったことによるものではないため需要は下がると予想している<br>・輸入材不足は、早晚回復するだろうと見込む。                                                                     |

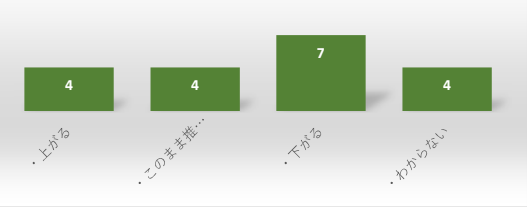
2. 高騰している原木の価格は、今後どの様に推移すると思いますか？

【ポイント】

・【上がる】【このまま推移する】と回答した理由としては、原木需要は顕著に推移し、8月の豪雨災害による供給不足への不安など原木への不足感を払拭されないと考えている。  
一方、【下がる】との回答理由については、外材の不足感の解消等、需要の見通しとしても下がることや、高騰の反動が必ず起きると考えていることによる。  
さらに、国産材の供給や外材の輸入動向が見通せないため【わからない】との回答が、川中、川下において見られた。

|       |            | 回答者 | 回答率 (%) |     |    | 川上 | 川中 | 川下 |
|-------|------------|-----|---------|-----|----|----|----|----|
| 原木価格は | ・ 上がる      | 4   | 社       | 21% | 内訳 | 2  | 1  | 1  |
|       | ・ このまま推移する | 4   | 社       | 21% |    | 1  | 2  | 1  |
|       | ・ 下がる      | 7   | 社       | 37% |    | 1  | 3  | 3  |
|       | ・ わからない    | 4   | 社       | 21% |    |    | 3  | 1  |
|       | 回答数        | 19  |         |     |    | 4  | 9  | 6  |

今後の原木価格の推移について



|       |                                                                                                                                                                                                                        |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 川上の意見 | 【上がる】<br>・ カラマツに関しては、高騰しておらずコロナ前の水準に回復したのみであり、若干強気基調の状況、秋口までは原木不足のままだと予測するので強気の市況となると見込んでいる。                                                                                                                           |
|       | 【このまま推移する】<br>・ 一度上がった製品価格は下がりにくい、原木は需要がありこのままの状態が続くと思う。                                                                                                                                                               |
|       | 【下がる】<br>・ 反動が必ず起こると考えるので価格は下がる。                                                                                                                                                                                       |
| 川中の意見 | 【上がる】<br>・ 来年の初め頃までは高騰していくと思う。<br>・ ウッドショックに加えて、豪雨災害の影響から供給不足が想定される。<br>・ 集成材ラミナの引きあいが増盛でA材丸太が不足し、B材価格は上昇する見込み。                                                                                                        |
|       | 【このまま推移する】<br>・ 年内はこのまま推移すると思う。しかし北米製材品市況は下落しており、コンテナ不足やフレータの高騰等が落ち着きを見せると状況はどの様になるか見えない。<br>・ 輸入材の入荷状況の見通しが立たないため、現状推移すると思われる。                                                                                        |
|       | 【下がる】<br>・ コロナ禍・ 外的要因であり、国内での需要に期待は少ない、外材は高まり国産材は供給不安から下がる。<br>・ 各方面から価格を下げようとする力が働くため。<br>・ 全て外材の動向次第と思うが、現状原木は高止まり感があり、製材品で引き合いが強いのは、並材105角以下の正角であり、その他木材の不足感は解消されつつあり、ダブツキ始めた部材も一部で出始めたことから、外材の入荷次第で急激に下がる可能性もあり得る。 |
| 川下の意見 | 【わからない】<br>・ 国産材の供給が不安定であり、情報量の不足と不明確な情報から先が見通せない。<br>・ 年内はこのまま推移すると思う、しかし北米製材品市況は下落しており、コンテナ不足やフレータの高騰等が落ち着きを見せると状況はどの様になるか見えない。                                                                                      |
|       | 【上がる】<br>・ 原木の不足から高い価格でも確保したい現状、高くても売れるため高騰している。<br>・ 品薄感は誰もが共感しており、原木を確保するためには高い価格でも購入しなくてはならないため。                                                                                                                    |
|       | 【このまま推移する】<br>・ すぐに木材の確保が難しく、一時的に品薄から高値が続くが必要以上の製品価格の高騰は、消費者の購買意欲を削ぎかねないので現状維持の価格で推移すると思う。                                                                                                                             |
|       | 【下がる】<br>・ 需要見通しが下がることから原木価格も連動して下がると考えている。                                                                                                                                                                            |
|       | 【わからない】<br>・ 国産の建築用材の相場に大きな影響を与える外材の動向次第であるが、世界的な木材需要の高まりによって木材需要は堅調に推移すると思われる。また、環境資源である木材は注目を集めていくであろうことから従前のように外材が大量に入荷するという状況は想定しづらい。今後の相場水準は輸入材のコスト次第であり、先行きは不透明。                                                 |

### 3. 国産材の需要増加に対応するため、どのような取組が必要とお考えですか？

#### 【ポイント】

- ・川上、川中、川下の共通の認識として、担い手の不足が問題視されており、労働力の確保対策が国産材の供給拡大や安定供給体制の構築に不可欠との意見。
- その上で、皆伐施業などにより生産量の増加を図り、国産材の需要拡大や安定供給のためには、川上から川下までが連携したサプライチェーンを構築する必要との意見。

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 川上の意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国有林材の計画的な搬出と立木販売（皆伐）による供給が必要。</li> <li>・高齢級の森林の皆伐施業を増加させる。</li> <li>・労働力の確保など事業体の育成が必要。</li> <li>・事前に森林作業道を開設することにより、準備作業を少なくする。</li> <li>・現状の森林経営計画作成の為の手続きは時間と労力がかかるため、手続きを簡素化するための制度改正が必要。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 川中の意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国産材の安定供給体制の整備。</li> <li>・供給量を増加する、現状の経営計画制度の大幅な見直し必要。</li> <li>・林業従事者、担い手の確保対策が必要。</li> <li>・職員のスキルアップと安全教育の徹底、新規採用の拡大と作業効率の向上が必要。</li> <li>・新規就労者や機械等の設備は急激な増加は困難、皆伐の推進、事業体の枠を超えた労働力の流動化が必要。</li> <li>・並材が値上がりして需要が増加し刺激もあって伐採意欲が出てくることは良い事だが、外材の代替需要だけであり、大径無垢材、役物の需要は少なくなっている。今後外材の価格、入荷次第では国産材需要が減り、価格も戻ってしまう可能性もある。山全体の価値を維持する為には大径無垢材、役物の需要を作っていくなければならない。</li> <li>・高性能林業機械の低価格リースにより、生産経費を下げ、持続可能な施業を目指すことにより皆伐施業の増加を見込む。</li> <li>・森林境界の明確化を強化し、未整備森林の森林整備により供給量の増加を見込む。</li> </ul>                                    |
| 川下の意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国産材での家づくりのために、川上から川下までが連携した取組が必要。</li> <li>・原木量を増やすため、民有林材の伐採量を増加させること、林業従事者の確保が必要。</li> <li>・新規就業者が定着するための取組が必要、人材不足では素材生産量の増加は困難。</li> <li>・国産材は性能面で建築用材として輸入材に敵わない実情があり、マーケットやサプライチェーンが整備されていない。</li> </ul> <p>また、林業従事者不足から需要増加に出材が追いつかない背景もあり、安定供給の面からも課題がある、小規模皆伐の推進による搬出量の増加と林業従事者の収入の増加により雇用の安定化政策が必要と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素材生産事業者や原木の運送業者等、川上の慢性的な人手不足と定着率の低さが課題、非常に危険で技術の必要な職業でありながら、賃金は、川中の製材、建築業界より低水準であり仕事も天候に左右されやすく不安定という短所を改善するため、川上、川中を含め協議を行って相互に連携をするシステムを構築する様な取組が必要。</li> </ul> |

### 4. 今回の機会に、御社で取り組んだ対策等がありますか？

#### 【ポイント】

- ・川上、川中、川下共に需要の増加に伴う原木の不足の対応策に取り組んでいる。
- 川上では、手持ち立木販売物件の積極的な伐採や、県内外の木材市場、公売等への入札に参加するなど原木の供給に努めている。
- 川中では、需要者のニーズに応じ極積みを細分化し、購入機会を増やす取り組みや、既存の需要者に対する安定供給対策を実施する等対策を実施している。
- 特に川下では、国産材需要の増加による影響が強く、出荷先の要望に対応すべく様々な取り組みを実施している。一方で、原木の不足により、休業や時短営業をする等対応できなかったケースも見られた。

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 川上の意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外の木材市場への入札に積極的に参加、手持ち立木販売物件の伐採を積極的に実施。</li> <li>・労働力確保のためこれまでと違った求人方法を行っている。（募集のチャンネルを増やした）</li> <li>・公共物件での川上から川下の連携により地域材の供給に努めた。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 川中の意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・需要の増加に伴い、極積み基準を細分化し販売している。</li> <li>・原木の調達の価格調整を行った。</li> <li>・新規機械を導入した。（自動選木機を更新した。）</li> <li>・出品材の細かな仕分けを行い、極数を増やして「買方」の購入チャンスを増やした。</li> <li>・既存の国産材需用者への安定供給に努め、一見さんには今後の国産材の使用意思等を確認して販売を実施している。</li> <li>・スギの製材品需要の増加に応じるため、採材仕様の変更を行った。</li> <li>・丸太の全国相場や地域相場、製品価格を常に意識しながら、相場形成のバランスが取れるようにしている。</li> <li>・大径材が売りにくい為、原木丸太の保管の方法を考えている。</li> <li>・既存の国産材製材工場に対して供給量が減少しないよう川上側に対し、生産量の増加について協力を要請している。</li> </ul> |
| 川下の意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外への原木流出を防止するため、価格を上乗せして購入している。</li> <li>・水平連携により他の製材工場へ製材を依頼し、需要の増加に対応している。</li> <li>・代替品としての一過的な需用者の取引はお断りしている。</li> <li>・製材品価格の取引価格の価格交渉を実施した。</li> <li>・経営管理委託契約管理地の拡大の為に近隣の山林所有者へ営業を行った。</li> <li>・資材納入の企業パートナーと連携を深めている。</li> <li>・必要量の原木が集まらず、休業や時短などで生産調整に終始した。</li> <li>・出荷先の数量割合を変更依頼すると共に原材料不足による減産を依頼した。</li> <li>・需要の高まりを生産量増に繋げるためには川上への還元が必要、自社生産部門の拡充に取り組み安定供給実現を目指している。</li> </ul>                         |

## 5. 国有林に対するご意見・ご要望等

### 【ポイント】

- ・ 今回の国産材需要の高まりを受け、国有林に対しては、供給量の拡大を含め、計画的・安定的な供給に加え、販売方法の見直し等に対し、多くの意見。

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 川上の意見 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 生産請負契約の複数年化と大小の立木販売物件の増加をお願いしたい。(搬出期間の中で在庫量の確保として)</li><li>・ 労働力の確保にはこれまで以上の賃金等が必要です。コストの削減には限界があり生産請負事業での単価アップを望みます。</li><li>・ 何事にもブレず、計画通りの発注をお願いします。</li><li>・ 本県は国有林が多く、人工林が少ない、本県だけにとどまらず国有林材の販売を積極的に拡大していただきたい。</li></ul>                                                                                                                                                                                        |
| 川中の意見 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 計画的な生産と安定供給を御願ひしたい。</li><li>・ 間伐、択伐の推進をお願いします。</li><li>・ 立木公売は価格高いが量的には満足、国有林委託材・システム販売を公正な市場へ量的に増加して頂きたい。</li><li>・ 国有林土場活用委託販売の一極当たりの数量を少量化して「買方」の購買チャンスを増やして頂きたい。</li><li>・ 地域の林業、木材業者活性化のため、安定的で計画的な事業をお願いします。</li><li>・ システム販売等の長期事業発注（3年間程度）と造材採材の柔軟な対応をお願いしたい。</li><li>・ 早期事業発注をお願いします。</li><li>・ 鮮度の良い木材の提供と単年度の計画でなく、長期の伐採計画・販売計画が分かると予定が立てやすくなる。</li><li>・ 8月の豪雨災害の早期復旧と、中止となった事業の代替事業を確保していただきたい。</li></ul> |
| 川下の意見 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ A材が多く生産される仕組みづくりと需要に応じて3mや長尺材の造材をお願いしたい。</li><li>・ 工場へ直送できる販売仕組みを検討して欲しい。</li><li>・ 生産請負事業の民有林材との同時期発注を回避していただきたい。</li><li>・ 資本金の小さな会社でも入札できる小ロットでの公売。</li><li>・ 搬出量の更なる増加をして欲しい。</li><li>・ システム販売の地域要件とカスケード利用をもっと重視した入札制度にして欲しい。</li><li>・ 引き続き国有林からの安定した供給数量拡大をお願いしたい。また、生産拡大に向けた設備投資が行える仕組み作り、年度区切りや五カ年計画による事業量の偏りを解消し、事業の平準化をお願いしたい。</li></ul>                                                                    |